

C | O | N | T | E | N | T | S |

- 【1】開催予定セミナーのご案内
- 【2】職場を考える(33)
- 【3】生き生き施設づくり(25)
- 【4】信頼のある職場(33)
- 【5】少年硬式野球チームのコーチと目標管理(43)
- 【6】中国における工場管理―“型無し”と“型破り”
- 【7】ミクロコスモス

平素はお世話になりありがとうございます。
当センターで2カ月に1回のペースで発刊するメールマガジンをお送りします。
すごいことが書いてあるわけでもなく、無事をお知らせする程度のメールマガジンです。
気楽にご笑覧いただき、今後とものご厚誼をいただければ幸いです。

中嶋哲夫

【1】開催予定セミナーのご案内

●第40回 目標管理推進者養成研修 参加者募集！！

- ※職場目標の設定からスタートし、業績評価や教育研修での活用まで、
目標管理の持つ幅広さと深さを学ぶためのセミナー
- ※目標管理に取り組んで35年の中嶋哲夫が責任指導し、組織内で目標管理の
運用を担えるスタッフを育成

開催日時：第1ステップ：2016年10月13日（木）13:00～14日（金）17:00まで
第2ステップ：2016年12月8日（木）13:00～10日（土）12:00まで
内 容：CMBOの実践ポイントを修得し、職場の実践のなかで知恵を体得し、
職場での実践指導者を養成します。
職場目標の設定から人事評価までの一連の流れの正しい進め方を修得
できます。
研修2回のoff研修と職場実践を組み合わせた現場で使えるノウハウ
を修得します。（途中、メールでの実践指導付）
会 場：第1ステップ：株式会社エム・シー・アンド・ピー
カンファレンスルーム（大阪中之島）
第2ステップ：関西セミナーハウス 修学院きらら山荘（京都修学院）
参加費用：190,000円（税別）／おひとり様

【2】職場を考える(33)

【PDCAサイクルの質】

多くの組織ではPDCAサイクルをまわすことの大切さが強調されていると思います。
また実際、会議などを通じてPDCAサイクルをまわす努力が行われていると思います。

ただ、そこには注意すべき落とし穴があります。それは、PDCAサイクルの質です。PDCAサイクルは計画し、実施し、チェックし、アクションするという手順を表現した言葉です。その内容については、何も表現していません。その内容については、スパイラル・アップが大切だと言われます。つまり、PDCAの内容が質的に高まるとことを期待しています。つまり、翌年の計画が質的に高まることが期待されています。ところが、前年の計画と今年の計画の質的差異をチェックし、意識的に質を高める努力をしている方には、残念ながら、あまり出会いません。

CMBOでは、目標書や役割マトリックスが毎年変化することを強調します。なぜならば、仕事について学習すれば、その結果が目標書や役割マトリックスに表現されるはずだと考えているからです。任務や役割、目標項目などの認識が変わるからです。前年の目標書をコピーして、目標値だけを変えている場合、そこには何の学習もありません。それでは職場の力が高まりません。

CMBOではPDCAサイクルといわず、PDSサイクルと言います。細かいことなので、こだわるわけではありませんが、Seeを強調したいからです。現実をしっかりと見る。それが学習の出発点だと考えています。

中嶋

【3】生き生き施設づくり(25)

【 外国人介護スタッフ 2 】

お子さんに待望の赤ちゃんが生まれておばあちゃんになった職員が、初めての孫に会うためにお休みをくださいと申し出てきました。

施設長から、どう対応したらいいだろうかと相談がありました。

なぜ、こんなことで、相談？

職員が、外国人スタッフで、母国がフィリピンで、里帰りをかねて1か月間休みたいと申請してきたとなると、「おめでとう、どうぞ」とは言えない事情が施設側にはあります。

まず、休み期間中のスタッフのやりくりをしないといけないこと。

それは何とかするにしても、1か月休むための規定が就業規則にはありません。

有給休暇の残日数では1か月に足りません。この場合育児休業には当たりませんし、通常の休職は適用される事由が私傷病や公務休暇などに限られています。とすれば欠勤扱いにするしかありません。しかしそれでは四角四面の窮屈な対応だと感じられます。

就業規則が想定している労働者が、国内に主な生活の根拠地を構える人であって、慶弔休暇などは日本のライフスタイルや慣習を踏まえたものなので、外国人スタッフが増えていくとなると、その国の一般的な生活慣習にも配慮を払う必要がうまれてくるかもしれません。

パートナー・三宅敬司

【4】信頼のある職場(33)

【 みんなの問題 】

40代半ばで信用金庫をやめ、10年近く専業主夫として家事全般や子育てを担ってきた友人がいます。夫人はベテラン看護師で勤務先の夜勤やシフト勤務があるために夫婦で話し合っ、夫が家庭に入ったそうです。お子さんが幼稚園や小学校のときはPTAやクラスの世話役を歴任。当人が言うには、授業参観日やPTAに出席する保護者の大半が女性で、男性ということで希少価値があって推薦され、他の保護者よりだいぶ年長ということもあって一目置かれ何かと収まりがよかったそ

うです。

裏返せば、一般的にはまだまだ家事・子育てが女性の役割とされていることにほかなりません。

安倍内閣が進める一億総活躍社会の働き方改革において、仕事と育児・介護の両立を難しくし女性のキャリア形成をはばむ原因となっている「長時間労働の是正」が課題となっており、各企業でも本腰を入れた取り組みが始まっています。

これは働く人みんなの課題ですが、それぞれが置かれた状況によって切実さの度合いが違ってきます。いま現に育児中の社員であればまさに切実な課題ですが、若手独身の男性社員でバリバリ仕事一本という人ならピンとこないかもしれません。でも会社までもが、育児中の社員の課題としてとらえてしまっはまらずと思いません。

すでに人手不足が深刻ですし長期的にも労働力人口は減少の一途をたどります。売り手市場が基調になり、優秀な労働力がより良い条件を求めて市場を移動する状況がより顕著になると考えられます。「より良い条件」とは何でしょうか。人さまざまですが、仕事と生活が両立できることは間違いなく条件の一つですし、両立可能であることの価値は社会的にも、働く人の実感としても、特にこれからの社会を支える世代では男女ともに、ますます高まっていくことは確実です。

パートナー・三宅敬司

【5】少年硬式野球チームのコーチと目標管理(43)

【意思決定】

前回のメルマガに記載した通り、我がリーグに元千葉ロッテマリーンズの監督を務めた、ポビー・バレンタインさんが臨時のコーチとして一週間指導してくださいました。

その後・・・その成果が表れました！！小学生の硬式野球チーム日本一を決める、「アンダーアーマーカップ」への出場権を獲得するリトルリーグの大会で、みごと優勝！今週末から福島県で行われる大会で、リトルリーグの代表としてボーイズリーグ、ヤングリーグをはじめとした、各リーグの代表チームとの対戦に向けて猛練習を行っております。

勝つことでチームの雰囲気は最高潮、子ども達以上に保護者の皆さんが「旅のしおり」や「応援グッズ」の製作やらで一致団結！リーグの副会長を務める私にも保護者から、応援グッズのひとつである、タオルのデザインを決めて欲しいとの依頼。

「自分たちで好きに決めたら？」と言うと・・・何やら困った表情。どうも、保護者の間では色々な意見が出ており、自分たちでは決められないとのこと。つまり、リスクは取りたくないという話です。確かにデザインは一度決めたら当面使うものですし、コストも掛かります。気持ちは分からないわけではありませんが、多数の意見をまとめることに前向きではありません。

そこで、いくつかのデザイン候補を見て、「個人的には、これかな？」と伝えたところ、相談に来た人は少々曇った表情に・・・「そのデザインは少数派なんですよね・・・」

「では、多数決で決めたら良いじゃない！」という、「多数決だと、少数派が・・・」と、どうにも決まらない。「では、副会長が、これっ！と言っていたと前置きして、多数派のデザインに決めたら？」と伝えたところ、「そうします！」と笑顔に。

組織における意思決定の場面で、良くありがちな場面ですが、多数決が民主的で良い方法のように思う場面もありますが、少数派の意見を聴きつつ、最終的に意思決定をしなければならぬ場面で組織の管理者はどのように考えるべきなのかを、改めて考えさせられました。

今回私が考えた「目標」はデザインの良し悪しで、野球の勝敗を左右するもので

はないのだから、大切なことは「チーム内の関係を壊さないこと！」つまり、私が悪者に！

結果、でき上がったタオルのデザインを見た少数派の人達も「けっこういいじゃない」の一言。

「よしよし」・・・私の独り言。

イケメンコーチ

【6】中国における工場管理―“型無し”と“型破り”

先日、無着成恭さんがテレビの対談で、父親から“かたち”について厳しく躰けられたという話をしていた。“かたち”を作らずにかたちを破ろうとするのは“型無し”で、“かたち”ができたうえでそれを超えるのが“型破り”だと教えられたという。これは芸事の「守破離」と同じことだろう。私は工業高校の化学科出身だが、高校3年間の実習で教えられたことは器具の洗浄と分析だった。会社に入って、実験助手になったが、最初に先輩から教えられたことは器具の洗浄と計量と分析だった。大学の化学科でも最初に習うのは無機化学、そして有機化学の基礎だ。機器も装置も日進月歩に進歩するから化学実験のやり方もずいぶん変わったと思うが、無機化学と有機化学の基礎知識の上に、最新の知見が積み上げられていくのは変わらないと思う。何事も基本が大切。

ところでこういう短文でも書き方というか、思考法の“かたち”を持っているのと持っていないのでは書きやすさが格段に違うということに最近気が付いた。私は長い間、文章は“起承転結”で書くものだと思い、これを実践してきたが、最近、思考は“起承転”の3ステップが重要で、ここまでが“思考のかたち”。思考を転がしているうちに思いもよらない“結”にたどりつければ、自分の思考パターンから少し飛び出せたということになるということに気が付いた。

順利包装集団 福喜多俊夫

【7】ミクロコスモス

自宅で家庭菜園を耕していると、畑の土にはたくさんのミミズがいます。ミミズが多い土地は肥沃な土地と子ども時代に信じ込んでいる筆者は、耕している土からミミズが出てくるとちょっと嬉しくなります。ところが、耕しているとミミズの身体がちぎれてしまうことがあります。少しだけですが、申し訳なく思います。

今朝もミミズを見ながら、ふと思いました。この畑には、人間が1人。やってくる鳥は20羽。蟬もそれくらいは来るでしょう。トカゲが10匹、ミミズは500匹、蟻は数えきれず、土壌菌は無限。作物に病気をもたらすウィルスもいるようです。小さな菜園のなかにも食物連鎖が成立し、生物の間で競争が行われているはず。そこに肥料を放り込み、鍬を振り下ろす筆者は小さな生物にとっては「超怪獣」。蟻にとって、筆者のひと鍬は巨大台風。たくさんの命を頂きながらキュウリやトマトを育てているようです。小さな家庭菜園ですが、そこにも命の神秘は潜んでいるようです。

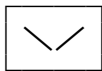
お盆なので、こんなことを考えてみました。

代表 中嶋哲夫

◆◇MBO(目標管理)実践支援センターの考え方

MBO(目標管理)実践支援センターはMBO(目標管理)を組織内で展開するためのノウハウを蓄積し、人事担当者へ提供するためのセンターです。営利事業と非営利事業を組み合わせてこの機能を果たしていくつもりです。

<http://www.mbo-mcp.com/>



編集・発行／MBO(目標管理)実践支援センター
代表／中嶋哲夫 <http://www.mbo-mcp.com/>
事務局／(株)MC&P TEL:06-4706-3311

- 最後までお読みいただきましてありがとうございます。
このメールマガジンは、センターの講師陣が出会った方々に感謝の気持ちを込めて送らせていただいています。
もし、ご関心のない場合には、ご面倒ですが解除の手続きをお願い申し上げます。
- このメルマガを読んでもらいたいお知り合いを是非ご紹介ください。
- 投稿または配信停止を希望される場合は、
下記「お問い合わせフォーム」にて、
「MBO投稿」または「MBOメルマガ配信停止希望」とご記入の上、送信願います。
<https://secure.mcp.co.jp/contact.html>
- このメールアドレスは配信専用となっております。
返信いただいても対応はいたしかねますのでご了承ください。
ご連絡は下記のアドレスまでお願いいたします。
mbodoor@mbo.mcp.co.jp

※本メールの無断転載・複製を禁じます。